令和５年度　　西が岡小学校　学校評価書

別紙２

※　網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

**１　教育目標（目指す児童像含む）**

|  |
| --- |
| 人間尊重の教育を基盤に自ら学び，自ら考え，主体的に判断して生きていくことのできる，心身ともに健康で，心豊かな，たくましい児童を育成する。  ＜目指す児童像＞  (1)明るく元気な子ども（体力・気力）　(2)よく考えて学習する子ども（創造力）  (3)心豊かで思いやりのある子ども（責任・思いやり） |

**２　学校経営の理念（目指す学校像含む）**

|  |
| --- |
| 教育目標の達成を目指し，子どもの自主性を育て，希望に満ちた明るく，楽しい学校づくりをするために，全職員が和と協力，熱意，そして人間尊重の精神を基盤に『生きる力』を育む教育に取組み，新しい時代の教育に向けた持続可能な活力に満ちた特色ある学校経営を推進する。  ＜目指す学校像＞  (1)楽しく充実し居がい感のある学校　　(2)子どもと教師が共に育つ学校  (3)地域とともにある笑顔あふれる学校  ＜合言葉＞　元気いっぱい　夢いっぱい　笑顔あふれる　西が岡 |

**３　学校経営の方針（中期的視点）**　※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

|  |
| --- |
| (1)　一人一人のもつよさや特性を認め，自信と意欲を育む居がいのある学校･学級づくり，自主性を育てる教育活動の展開に努める。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 **（学級経営の充実）**  (2)　学ぶことの意義を明確にするとともに主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り，学ぶことの楽しさや成就感を体感させ，自ら学ぶ態度の育成と基礎・基本の確実な定着に努める。  **（学習指導の充実）**  (3)　道徳教育や学級経営の充実を図り，「生命や人権を大切にする心」「思いやりの心」を育み，心豊かでたくましい子どもの育成に努める。　　　　　　　　　　　　　　　　　 　**（心の教育の推進）**  (4)　全教職員の共通理解のもと，児童理解及び保護者との情報共有に努めることで，児童・保護者との信頼関係を深め，規範意識の醸成と基本的生活習慣の確立に努める。　　　　　　　　 **（児童指導の充実）**  (5)　進んで運動に親しむ体育指導と，健やかな体を育む食育・保健指導の充実を図り，健康・体力の向上に努める。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　**（体力の向上と保健安全教育・食育の充実）**  ○(6)　学校園として認め励ます指導を通して自尊感情を育み，学習や活動の交流を図り，小中一貫教育を推進する。 　　　　　　　　 **（小中一貫教育の推進）**  (7) 多様性と人権を尊重し，特別支援教育の視点を大切にした教育環境の醸成に努める。  **（特別支援教育の推進）**  (8)　常に自己の資質向上に努めるとともに，コンプライアンス及びアカウンタビリティを意識し，子どもや保護者から信頼される教職員集団を目指す。　　　　　　　 　　　　　 　　 **（教職員の資質の向上）**  (9)　家庭や地域との連携と情報発信の充実に努め，地域とともにある学校づくりの推進に努める。  **（地域とともにある学校づくり）**  (10)　教育の重点化，ＩＣＴの活用，協働体制の確立，報・連・相体制の徹底，保護者や地域の教育資源の有効活用，出退勤時刻の管理等により教育の効率化を図り，教職員の働き方改革を推進する。  **（教職員の働き方改革の推進）**  [宝木地域学校園教育ビジョン]　「いきいき宝木」心豊かな宝木っ子の育成を目ざして  　　　　豊かな心の育成　　・規範意識と自尊感情の育成  　　　　　　　　　　　　　・生命を尊重し相手を思いやる態度の育成  　　　　　　　　　　　　　・自然，文化，芸術に親しむ感性の育成 |

**４　教育課程編成の方針**

|  |
| --- |
| (1)　日本国憲法，教育基本法，学校教育法，同施行規則，新小学校学習指導要領等の法令並びに栃木県教育委員会の方針「とちぎ教育振興ビジョン」，宇都宮市教育委員会の学校教育の重点「第２次宇都宮市学校教育推進計画」「第２次宇都宮市学校教育スタンダード」「令和５年度指導の重点」の示すところに従い公教育の立場を堅持し，本校の教育目標達成のため，調和と統一ある教育課程を編成する。  (2) 児童の実態や学校の特色や地域のもつ豊かな教育力を生かして，知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで「生きる力」を身に付けた児童の育成を目指した教育課程の編成に努める。  (3)　本年度の学校教育目標，学校経営方針，努力点や具体策，学校課題の具現化を図るとともに，学校教育の活性化を図る特色ある教育課程の編成をする。 |

**５　今年度の重点目標（短期的視点）**※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

|  |
| --- |
| (1)学校運営  落ち着いた学校生活のもと，縦割り班活動を中心とした体験活動や道徳教育，読書活動などを通して豊かな心と自主性を育み，特別支援教育の視点を取り入れた分かる授業の充実を図り，学ぶことの楽しさを実感する教育の推進に努める。  新学習指導要領の趣旨を受け止め，明確なビジョンをもった教育課程の編成・実施による教育活動を推進し，新しい時代へ向けた持続可能な教育体制を目指すとともに，働き方改革を積極的に推進する。  (2)学習指導  〇　児童の実態や特性を踏まえ，新学習指導要領の趣旨を具現化した分かる授業（西が岡スタイル）を展開し，学習意欲の向上に努めるとともに，家庭学習の習慣化を図り，確かな学力の定着に努める。  (3)児童生徒指導  〇　道徳教育や学級経営の充実を図り，具体的な活動を通して「明るいあいさつ」「正しい言葉遣い」「決まりを守る態度」の育成に努める。  (4)健康（保健安全・食育）・体力  体育，保健，食育指導の連携をもとに，自己の生活習慣（保健安全・食習慣・体力）を意識できる児童の育成に努める。  (5) 教育の効率化  教育の重点化，ＩＣＴの活用，協働体制の確立，教職員の勤務時間の管理により教育の効率化を図り，働き方改革を進める。 |

**６　自己評価**Ａ１～Ａ２０は市共通評価指標　Ｂ１～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には，Ａ拡充　Ｂ継続　Ｃ縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策 | 評価項目 | 主な具体的な取組 | 方向性 | 表中数字 : 上段はR5年度  評　価　　　　　　　 下段はR4年度  　　　　太数字 : 前年度比±5ポイント |
| １－（１）  確かな学力を育む教育の推進 | Ａ１　児童は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。  【数値指標】  全体アンケート  「私は，学習課題を解決するために，友達と話し合ったり，必要な情報を集めたりしながら，じっくり考え，進んで学習に取り組んでいる。」における肯定  的回答⇒児童９０％以上 | ①　発達段階に応じ，がんばりカードや音読カードを活用し，自分の学習を振り返ることができるようにする。  ②　「聞き方・話し方・姿勢」を掲示し，意識付けを図る。  ③　「家庭学習のすすめ」を自主学習ノートに貼り，それを見ながらどんな内容にするかを自分で決めて，進んで学習できるようにする。  ④　「西が岡スタイル」による「分かる，できる」を実感できる授業の展開に努める。  ⑤　学校図書館や1人1台端末を活用し，児童の情報活用能力の育成を図る。 | Ａ | 【達成状況】A1（△）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 87.8 | 91.3 | 85.6 |  | | ※ | ※ | ※ |  |   ・児童の肯定的な回答が87.8％で目標を達成していない。状況に応じた学習形態の工夫により、進んで学習に取り組む姿が見られたが、個人差が大きい。  【次年度の方針】  ・引続き生活や学習の場面を通して，互いに認め合う学級経営を進める。  ・1人1台端末の活用場面を工夫する。  ・担任と学校図書館司書と連携を密に取りながら、外部図書館からの資料活用を積極的に図っていく。 |
| １－（２）  豊かな心を育む教育の推進 | Ａ２　児童は，思いやりの心をもっている。  【数値指標】  全体アンケート  「児童は，誰に対しても，思いやりの心をもって優しく接している。」の肯定的な回答  ⇒教職員８５％以上 | ①　体験活動と関連を図った道徳や総合的な学習の時間の授業を実施し，生命や人権を尊重する心や思いやる心などを涵養する。  ②　豊かな感性の育成を目指した読書活動を推進する。  ・ボランティアによる読み聞かせ  ・読書週間の活用  ③　異学年の交流活動を上級生がリーダーになって主体的に行い，思いやりの心を育てる。  ④　「命の授業」や「人権の授業」を授業参観等で公開したり，親子学習で取り上げたりして，保護者への啓発を行う。  ⑤　小中連携した「宮っ子心の教育」を推進する。 | A | 【達成状況】A2（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 89.9 | 100 | 93.0 | 94.4 | | ※ | 100 | 93.0 | ※ |   ・教職員の肯定的回答が100％で目標を達成している。  ・縦割り班活動を通して，上級生が下級生に対して優しく接し，思いやりの心が育っている。  【次年度の方針】  ・児童の肯定的な回答は，市の平均を下回った。そのため，子どもたち同士が思いやりをもって行動できるよう，帰りの会等で児童の行為を認め励ましていく。  ・引き続き委員会活動の充実や図書ボランティアとの連携を図り，読書活動を積極的に推進していく。  ・授業参観で道徳の授業を公開し，保護者への啓発を行う。  ・縦割り班活動の充実を図り，引き続き異学年の交流活動を通して，思いやりの心を育てていく。  ・人権週間に児童が人権標語や作文を書いたり，集会活動を実施したりすることで人権意識を高めていく。 |
| Ａ３　児童は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。  【数値指標】  全体アンケート  「私は，夢や目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。」における肯定的回答  ⇒児童８０％以上 | ①　児童の自己肯定感を高められるよう，児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに，担任も認め励ます指導に努める。  ②　様々な授業において，児童が目標をもって取り組む機会を設けるとともに，目標の達成に向けて努力している児童を称賛する。  ③　道徳の授業において，目標をもって粘り強く取り組むことの大切さに気付かせるとともに，そうした実践に向けた意欲を高める。 | Ｂ | 【達成状況】A3（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 85.9 | 95.7 | 82.6 |  | | 90.1 | 93.8 | 72.8 |  |   ・児童の肯定的回答が85.9％で目標を達成している。  ・学級活動や帰りの会で互いに認め合う場を設定し児童を称賛することができた。  ・学校行事や児童会活動において，児童一人一人が目標に向かって粘り強く取り組めていた。  【次年度の方針】  ・キャリアパスポートや振り返りカードを活用して，振り返りを行い，各種行事における達成感を味わえるようにする。  ・児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに担任も認め励ます指導に努める。  ・児童が活動で感じた満足感・達成感を学校ＨＰや便り等で保護者に伝えていく。 |
| １－（３）  健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進 | Ａ４　児童は，健康や安全に気を付けて生活している。  【数値指標】  全体アンケート  「児童は，健康や安全に気を付けて生活している。」における肯定的回答  ⇒教職員 ８５％以上 | ①　休み時間の遊び方や廊下の歩行，登下校時の歩行について，自分で考えて安全に行動できるよう日常的な安全指導に努める。  ②　生活チェックシートを活用して，担任や養護教諭，栄養士等による個別指導を充実する。  ③　「おべんとうの日」には，栄養のバランスを配慮した献立が立てられるように，発達段階に応じて，ワークシート等を活用して支援する。 | Ｂ | 【達成状況】A4（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 92.9 | 95.7 | 87.2 | 100 | | ※ | 93.8 | 94.3 | ※ |   ・教職員の肯定的回答が95.7％で目標を達成しているが，校庭の過ごし方や廊下，登下校の歩行の仕方について，今後も指導が必要である。  ・委員会活動を通して，健康安全の呼びかけを行ったことは有効であった。  【次年度の方針】  ・学校での生活のルールについては，徹底  が図れるように継続して指導していく。. |
|  |  |  |  | ・今後も，お弁当の日は，ワークシートを活用して栄養バランスに着目した食育が進められるようにする。  ・放課後の遊び方について指導を継続する。  ・各種出前講座を活用し，児童の健康や安全に関する意識を高める。 |
| １－（４）  将来への希望と協働する力を育む教育の推進 | Ａ５　児童は，自分のよさや成長を実感し，協力して生活をよりよくしようとしている。  【数値指標】  全体アンケート  「私は，自分の良さや考えを生かしたり，周りと協力し合ったりして，進んで生活をよりよくしようとしている。」における肯定的回答  ⇒児童８０％以上 | ①　宮・未来キャリア教育に関わる活動を生活科，総合的な学習の時間等の年計へ位置づけし，系統的に学習する。  ②　実践的な活動を通して自分の役割を意識し，問題を主体的に解決し，生活をよりよくしようとする意識を高める。  ③　地域人材やボランティアを活用し，仕事や職業観についての話を聞く機会や体験的活動を設定して，学習や生活と職業とを関連付ける。  ・２分の１成人式（４年）  ・夢いっぱい教室（６年）  ・町探検（２年）  ④　学級活動や委員会活動で，キャリアパスポートへの活動記録を累積させ，自己の成長を自覚させる。 | Ｂ | 【達成状況】A5（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 88.6 | 87.0 |  |  | | ※ | ※ |  |  |   ・児童の肯定的回答が88.6％で目標を達成している。  ・学級活動や委員会活動を通して役割を意識し，問題を主体的に解決し，生活をよりよくしようとする意識が高まった。  ・学級活動や委員会活動で，キャリアパスポートへの活動記録を累積したことで，自己の成長を自覚することができた。  【次年度の方針】  ・地域人材やボランティアを活用して，夢いっぱい教室，町探検などの活動に継続して取り組んでいく。  ・引き続き，学級活動や委員会活動で，キャリアパスポートへ活動記録を累積する。 |
| ２－（１）  グローバル社会に主体的に向き合い，郷土愛を醸成する教育の推進 | Ａ６　児童は，英語を使ってコミュニケーションしている。  【数値指標】  全体アンケート  「児童は，英語を使ってコミュニケーションしている。」における肯定的回答  ⇒教職員９０％以上 | ①　低学年から，学級担任とＡＬＴによる指導を系統的に行い，コミュニケーション能力の育成を図る。  ②　職員研修で英語の教材開発やＩＣＴを活用した指導法の工夫や改善などを行い，授業力の向上を図る。 | Ｂ | 【達成状況】A6（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 76.1 | 95.7 |  |  | | ※ | 87.5 |  |  |   ・教職員の肯定的回答が95.7％であった。  ・学級担任やＡＬＴによる継続的な指導により，楽しさを味わえるような活動を実施することができた。  【次年度の方針】  ・今後も職員研修で指導法の工夫や改善などを行い，授業力の向上を図る  ・特に、高学年においては導入されたデジタル教科書を活用し、指導の工夫を図る。 |
| Ａ７　児童は，宇都宮の良さを知っている。  【数値指標】  全体アンケート  「私は，宇都宮の良さを知っている。」における肯定的回答  ⇒児童８０％以上 | ①　生活科，社会科，総合的な学習の時間の授業や，市内や地域での校外学習等において，学習内容に関連させながら児童が身近な地域や宇都宮市の良さに気付く指導に努める。  ②　教師自身が宇都宮市の歴史，文化，伝統産業，特産物等について理解を深められるよう自己研修に努める。 | Ｂ | 【達成状況】A7（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 85.2 | 87.0 | 74.3 |  | | 85.4 | 93.8 | 68.4 |  |   ・児童の肯定的回答が85.2％で目標を達成している。  ・各教科や総合的な学習の時間，校外学習等で，身近な地域や宇都宮市の良さに気付くよう働きかけてきた。  ・宇都宮市の歴史や良さに詳しい地域人材を活用し，話を聞く機会を設定した。  ・宇都宮の広報誌を授業に取り入れ、宇都宮市の特色について関心を高めた。  【次年度の方針】  ・宇都宮市の良さについて教師自身が理解を深め，授業に反映できるよう,自己研修や校内研修の場を設ける。  ・生活科・社会科・総合的な学習の時間での校外学習等において，身近な地域や宇都宮市の良さに気付く指導を継続するとともに，児童同士で紹介し合うなど関心を高める工夫を行う。 |
| ２－（２）  情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進 | Ａ８　児童は，デジタル機器や図書等を学習に活用している。  【数値指標】  全体アンケート  「私は，パソコンや図書等を学習に活用している。」における肯定的回答  ⇒児童８５％以上 | ①　「一斉学習」、「個別学習」、「協働学習」それぞれの学習場面において、デジタル機器を活用した効果的な学習指導に努める。  ②　児童が授業においてデジタル機器や図書資料を活用して，情報を収集・整理・発信する活動を充実させ，それらを活用する能力の育成を図る。  ③　家庭学習においてタブレット端末の活用を図る。  ④　図書館の環境整備に努め，授業に関連する図書資料を計画的に準備し，国語の教材や総合的な学習の時間の調べ学習等に役立てる。  ⑤　読書の時間や読み聞かせの時間，図書だよりの発行などを通して児童の読書意欲を喚起する。 | Ｂ | 【達成状況】A8（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 85.5 | 100 | 86.4 |  | | ※ | 93.8 | 82.3 |  |   ・児童の肯定的回答が85.5％で目標を達成している。  ・情報教育主任や図書館担当を中心に，デジタル機器や図書資料を活用し，授業を効果的に行ってきた。  ・ＡＩ型個別学習ドリルを活用するともに，一人一人の習熟の程度に応じた知識・技能の習得に向けて，家庭と連携し，個に応じたデジタル機器の活用に取り組んだ。  【次年度の方針】  ・ICT活用が必要な学習単元について，ICT支援員と担任のT.Tを積極的に行う。  ・学校図書館司書と連携し,図書資料の一層の活用を呼びかける。  ・研修でデジタル機器を活用した効果的な学習への理解を深め，授業力向上を図る。 |
| ２－（３）  持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進 | Ａ９　児童は，「持続可能な社会」について，関心をもっている。  【数値指標】  全体アンケート  「児童は，「持続可能な社会」について，関心をもっている。」における肯定的回答  ⇒教職員７５％以上 | ①　各教科・総合的な学習の時間等の環境教育を通して，環境問題への関心を高め，環境と調和しながら生きる意識や態度を育成する。  ②　現職教育の機会を活用し，教職員の資質向上のため研究と修養に努め，持続可能な社会づくりを念頭においた授業を検討する。 | Ａ | 【達成状況】A9（△）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 85.5 | 73.9 |  |  | | ※ | 75.0 |  |  |   ・教職員の肯定的回答が73.9%と目標を達成していない。  ・学校園で連携して図書室での「SDG’Sコーナー」を設置し，学校全体で持続可能な社会について話題にする機会を設けたりするなど関心を高めてきた。  【次年度の方針】  ・各教科で学習した取組を「SDG’S17の目標」に関連付けながら実践できる機会を学級活動や委員会活動等で意図的に設ける。  ・児童の発達段階に応じた教材分析や授業づくりを行い，持続可能な社会づくりの実現に向けて，児童の見方・考え方を育てていく。 |
| ３－（１）  インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進 | Ａ10　教職員は，特別な支援を必要とする児童の実態に応じて，適切な支援をしている。  【数値指標】  全体アンケート  「教職員は，特別な支援を必要とする児童生徒の実態に応じて，適切な支援をしている。」における肯定的回答  ⇒教職員８５％以上 | ①　校内支援会議を計画的，または必要に応じて開き，個に応じた具体的な支援について協議し，共有して組織的な体制で対応する。  ②　全教職員が様々な視点から児童を観察し，特別支援教育コーディネーターを中心に支援の必要な児童について状況の把握・情報の共有を行い，かがやきルーム担当者と連携しながら学級での支援を充実させる。  ③　ＳＣや他の外部機関と連携し合って，個に応じたよりよい支援の在り方について考え，指導に生かしていく。 | Ｂ | 【達成状況】A10（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | |  | 100 |  |  | |  | ※ |  |  |   ・教職員の肯定的回答が100％で目標を達成している。  ・全職員で協力して，児童の実態に応じて組織的な体制で対応し，適切な支援をすることができた。  【次年度の方針】  ・次年度も，校内支援会議の計画的な実施と協議内容の周知徹底，かがやきルーム支援員との日常的な情報交換，ＳＣや他の外部機関との連携等を行い，特別な支援を必要とする児童への適切な支援をしていく。 |
| ３－（２）  いじめ・不登校対策の充実 | Ａ11　教職員は，いじめが許されない行為であることを指導している。  【数値指標】  全体アンケート  「先生方は，いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」における肯定的回答  ⇒児童９０％以上 | ①　教育相談を年間２回実施し，児童の実態の把握と問題行動の早期発見に努める。  ②　人権週間，いじめゼロ月間，いじめゼロ集会を実施するとともに，保護者にも公開し啓発に努める。  ③　いじめ防止に関する資料や学校での取組を懇談会や学校便り，学校ＨＰなどで地域や保護者に積極的に発信する。 | Ｂ | 【達成状況】A11（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 96.6 | 100 | 86.6 | 94.4 | | 96.6 | 100 | 86.8 | ※ |   ・児童の肯定的回答が96.6％で目標を達成している。  ・いじめ防止対策の取組について，保護者へ，各種便りや学校ＨＰなどで学校の取組を随時周知した。  【次年度の方針】  ・次年度も教育相談や人権週間，いじめゼロ月間，いじめゼロ集会を実施する。  ・いじめ防止に関する資料や学校での取組を，学校便りや学校ＨＰ等で保護者や地域に積極的に発信する。  ・引き続き，児童に学校生活アンケートを実施し，教育相談等で児童の実態の把握と問題行動の早期発見に努める。 |
| Ａ12　教職員は，不登校を生まない学級経営を行っている。  【数値指標】  全体アンケート  「先生方は，一人一人を大切にし，児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」における肯定的回答  ⇒児童９０％以上 | ①　児童の自己肯定感や安心感が高められるよう教師の言葉がけや雰囲気作りに努める。  ・ソーシャルスキル  ・エンカウンター　　等  ②　職員会議後に不登校対策やいじめ対策を兼ねて，児童指導について情報交換会を実施し，全職員が情報を共有する。  ③　電話連絡や訪問等で家庭との情報交換を密に行い，SCを活用する等の積極的な支援と児童一人一人の状況に応じた適切な働きかけを行う。  ④　Q-U検査結果や教育相談等で実態を把握し，不登校未然防止に努めるとともに，不登校の発生時にはSCMや児童指導主任を中心とした対策委員会を実施し，方針を共有し，全校体制で支援を行う。 | Ｂ | 【達成状況】A12（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 97.6 | 100 | 90.0 |  | | 97.2 | 100 | 92.5 |  |   ・児童の肯定的回答が97.6％で目標を達成している。  ・日頃より児童指導について情報交換を行い教職員が共通理解を図ったり，状況に応じ対策委員会を開き，教職員が同じ方針のもと対応したりすることができた。  【次年度の方針】  ・Q-U検査，いじめのアンケート，教育相談等の結果を十分分析し，問題の早期発見に努める。  ・問題が明らかになったときには，早期に対策委員会を開き対策を講じる。また，外部機関の支援（SSW,家庭支援室）の連携も積極的に行い，学校体制で個に応じた支援を継続して行う。 |
| ３－（３）  外国人児童生徒等への適応支援の充実 | Ａ13　学校は，一人一人が大切にされ，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。  【数値指標】  全体アンケート  「先生方は，困ったときに相談に乗ってくれたり，問題を解決しようとしたりして，私たちが楽しく学校生活を送れるようにしている。」における肯定的回答　⇒児童９０％以上 | ①　学校行事や児童会活動に児童が主体的に取り組む場を設定し，適切な指導・支援・助言をすることにより，児童の達成感・自己肯定感を高める。  ②　ペア学習やグループ学習などの多様な学習形態を取り入れたり，体験的活動の場を設定したりして，児童の意欲を高める。  ③　年間４回実施するいじめ調査を効果的に利用し，必要に応じて児童と面談を行い，継続的に児童の実態の把握と早期発見に努める。 | Ｂ | 【達成状況】A13（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 97.3 | 100 | 91.7 | 100 | | ※ | ※ | ※ | ※ |   ・児童の肯定的回答が97.3％で目標を達成している。  ・児童が主体的に取り組み活躍する場が増えたことで，達成感や自己肯定感を高めることができた。  ・学習形態を工夫することで，一人一人の意見が大切にされ，互いを認め合うことができ，活動や学習の意欲が高まった。  【次年度の方針】  ・今後も，児童の活動意欲が高まるような場を設定していく。  ・教育相談や遊友タイムなど，児童と教職員が関わる時間を計画的に設定する。  ・教育相談やいじめ調査を継続し，問題の早期発見に努める。 |
| ３－（４）  多様な教育的ニーズへの対応の強化 |
| ４－（１）  教職員の資質・能力の向上 | Ａ14　教職員は，分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い，学力向上を図っている。  【数値指標】  全体アンケート  「先生方の授業は分かりやすく，一人一人に丁寧に教えてくれる。」における肯定的回答  ⇒児童９０％以上 | ①　全職員共通理解のもと今年度の学校課題の研究を進める。  ②　授業研究を行い，指導方法の工夫・改善や指導力の向上を図り，きめ細かな指導を実施する。  ・西が岡スタイルの実践  ・一人一授業公開  ・授業改善チェックリストの活用  ・ヒントカードや教材提示の工夫  ③　具体的な学習の取組の状況や研究の様子，要請訪問などについて，学びの広場で取り上げ，学校での研究の様子を保護者に知ってもらう機会にする。  ・学習チャレンジウィークの実施  ・学びの広場の発信  ・西が岡小「家庭学習のすすめ」の配付  ④　ノートやワークテスト，プリントなどに励ましやアドバイス・コメントなどを入れ一人一人の意欲を高める。 | Ｂ | 【達成状況】A14（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 98.0 | 100 | 87.3 |  | | 97.5 | 93.8 | 84.6 |  |   ・児童の肯定的回答が98.0％で目標を達成している。  ・全職員が共通理解を図り，分かる授業の実現のため授業研究を行い，指導方法の工夫や改善に取り組んできた。  ・児童の実態に即した指導方法を検討し，実践することができた。  【次年度の方針】  ・引き続き，学習に関する課題に応じた研究を行い，授業力向上を図る。  ・引き続き，児童の実態把握を十分に行い，児童一人一人に応じた，分かりやすい丁寧な指導を実践していくことで，学力向上を図る。 |
| ４－（２）  チーム力の向上 | Ａ15　学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。  【数値指標】  全体アンケート  「学校に関わる教職員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。」における肯定的回答  ⇒教職員８０％以上 | ①　学校の諸課題への対応や，学校行事の準備・運営等に，教職員が相互に助け合いながら一丸となって取り組むよう努めるとともに，困難を感じる業務について気軽に相談し，助け合える雰囲気を大切にし合う。  ②　全職員が職員会議や学年会での児童の情報交換を密にし，共通理解を図る。  ③　朝の学習や給食指導の際には，担任以外も学級支援に関わる。 | Ｂ | 【達成状況】A15（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | |  | 95.7 |  |  | |  | 93.8 |  |  |   ・教職員の肯定的回答が95.7％で目標を達成している。  ・全教職員が学校課題について共通理解をし，同じ方向性で問題解決に取り組むことができている。  ・業務を役割分担し，各自が職務を全うすることに努めている。更に，困難な業務には主務者に関わらず，全教職員で協力し合うよい雰囲気がある。  【次年度の方針】  ・児童指導や学習指導に関して，全体の方針に基き，各立場で積極的に関わる。  ・業務の集約化や業務の負担を分け合うなどの協力体制は不可欠である。  ・日頃からコミュニケーションを大切にチームワークを高め，業務に関する支援だけでなく，私的な悩みなどについても気兼ねなく相談できる雰囲気づくりに努める。 |
| ４－（３）  学校における働き方改革の推進 | Ａ16　勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。  【数値指標】  全体アンケート  「勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。」における肯定的回答  ⇒教職員８０％以上 | ①　職員研修等において働き方改革の意識付けと具体的な取組の共通理解を図り，教職員一人一人が，業務の効率的な実施や計画的な処理に努める。  ②　ポータルサイトや学習情報システム等を活用して，業務を効率的に遂行できるようにする。  ③　職員会議等の協議事項を精査して時間の短縮を図ったり，学校行事等の見直しを行ったりして，学校運営の改善を行う。  ④　教員の負担軽減に向け，各種行事や活動について，学年主任会や打ち合わせによる合意形成を図った上で，改善や見直しを行う。  ⑤　日常の校内巡視は焦点化し，常時指導を改善していく。 | A | 【達成状況】A16（△）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | |  | 69.6 |  |  | |  | ※ |  |  |   ・教職員の肯定的回答が69.6％で目標を達成していない。  ・人員不足により，教職員への負担が大きくなった。  ・ミライム掲示板を活用し，会議や打合せの時間の短縮，授業などにおいてタブレットを活用するなど，改善に向けた取り組みにより意識の向上や効率化が図られつつあるが，更なる改善が必要である。  【次年度の方針】  ・リフレッシュウィークや振替を取得しやすいシステムを構築する。  ・日課の見直しを行い，放課後の時間を確保する。（金曜日課の導入…会議・打合せを |
|  |  |  |  | 入れない。月～木はR5年度より5分短縮）放課後の保護者対応時間を周知する。  ・児童の下校時刻を守らせるよう，教職員も意識して指導に当たる。  ・登校指導のペア体制を見直し，安全の日の2回に1回を担当箇所を指導することとし，教職員の負担軽減を図る。 |
| ５－（１）  全市的な学校運営・教育活動の充実 | Ａ17　学校は，「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。  【数値指標】  全体アンケート  「学校は，小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている」における肯定的回答  ⇒保護者８０％以上 | ①　乗り入れ授業，教科分科会，６年生の進学先中学校訪問等を，目的を明確にして効果的に実施する。  ②　行事や児童会活動・集会活動等での交流を実施し，その様子を情報発信していく。  ・あいさつ運動  ・音楽朝会での発表  ③　「地域学校園の日」を活用して研修や情報交換を行い，地域学校園全体での共通課題の達成を目指す。  ・宝木学校園「生活のきまり」  ・自主学習推進  ・学習のきまり | Ｂ | 【達成状況】A17（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 91.5 | 87.0 | 90.9 | 100 | | ※ | ※ | 89.3 | ※ |   ・保護者の肯定的回答が90.9％で目標を達成している。  ・乗り入れ授業，あいさつ運動，音楽朝会での中学校合唱コンクール優秀学級の合唱披露，乗り入れ授業，宮っ子チャレンジなど，目的を明確にし，よい交流が図れた。  【次年度の方針】  ・音楽朝会での中学生の合唱披露をオープンスクール日に設定し，保護者や地域に広く周知を図る。  ・小中一貫の日，地域学校園分科会等において，また日頃から情報交換を行うことにより，小中9年間を見通した取組を行うことにより，児童の進学時の不安を解消し，スムーズに進学できるようにする。 |
| ５－（２）  主体性と独自性を生かした学校経営の推進 | Ａ18　学校は，家庭・地域・企業等と連携・協力して，教育活動や学校運営の充実を図っている。  【数値指標】  全体アンケート  「学校は，家庭・地域・企業と連携・協力して，教育活動や学校運営の充実を図っている。」における肯定的回答  ⇒教職員８５％以上 | ①　ＰＴＡや地域協議会等を活用し，各教科・領域で更に充実した体験活動を推進する。  ・ふるさと教室（昔遊び・昔の暮らし）  ・読み語り（陽だまりの会・下野民話の会等）  ・学習会　・農業体験（田植え，稲刈り）  ・町探検，ミシンボランティア　　　等  ②　ＰＴＡ学年委員や地域コーディネーターと連携し，活動の充実を図る。  ③　全学年で行政や企業と連携した出前授業を実施し，保護者にも積極的に参観を呼びかけていく。  ・工場見学（カルビー）　・人権教室  ・モノづくり教室（日産）  ・上下水道局　　　・薬物乱用防止  ・リコーダー教室　・歯磨き教室　等 | Ｂ | 【達成状況】A18（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 93.3 | 95.7 | 96.9 | 100 | | 92.2 | 93.8 | 94.4 | ※ |   ・教職員の肯定的回答が95.7％で目標を達成している。  ・各校務分掌担当者がPTA，地域協議会，外部団体と連絡・協力をし，充実した活動ができた。  【次年度の方針】  ・振り返り，継続・実施方法を工夫して活動の実施や団体等新規開拓1を検証する。また，次年度に生かせるように資料を整理する。  ・活動の様子を保護者に伝える手段（タブレットの活用，宿題として家庭に知らせるなど）を工夫する。 |
| ５－（３）  地域と連携・協働した学校づくりの推進 |
| ６－（１）  安全で快適な学校施設整備の推進 | Ａ19　学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。  【数値指標】  全体アンケート  「学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」における肯定的回答  ⇒教職員８５％以上 | ①　毎月，校舎内外の施設，設備等の安全点検を実施し，危険個所については迅速な改善や修繕に努める。  ②　危機管理マニュアルを整備するとともに，避難訓練や引き渡し訓練等を通して，火事，地震，竜巻，不審者侵入等の不測の事態への備えを万全にする。  ③　感染症予防対策，熱中症予防対策，インフルエンザ予防対策など，時期に応じた保健指導管理に努める。 | Ｂ | 【達成状況】A19（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | |  | 100 | 94.2 | 100 | |  | 100 | 91.4 | ※ |   ・教職員の肯定的回答が100％で目標を達成している。  ・毎月，安全点検で危険箇所を把握し，学校業務や機動班が迅速に修繕に当たることができた。  ・熱中症予防に努め，機器（スプリンクラー，大型扇風機，冷風機，冷房設備等）を活用するとともに，熱中症指数等をこまめに確認し，屋外での活動実施を検討した。 |
|  |  |  |  | ・児童在校中には校舎の施錠をし，防犯対策を行った。  【次年度の方針】  ・児童在校中の校舎内外の施錠を徹底していく。  ・新年度，早期の実施に向け引渡し訓練に関する児童引渡書等を確認する。  ・学校ＨＰや地域協議会での安全指導の紹介が効果を上げている。今後も，機会あるごとに地域への活動紹介を継続していく。 |
| ６－（２）  学校のデジタル化推進 | Ａ20　コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から，授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。  【数値指標】  全体アンケート  「私は，授業（授業準備を含む）や業務に，デジタルを積極的に活用している。」における肯定的回答⇒教職員８０％以上 | ①　児童がデジタル機器を活用して，情報を収集・整理・発信する能力を育成するため，デジタル機器等の積極的な活用を図る。  ②　デジタル機器を利用した授業を積極的に行い，ICT支援員を活用する等をして情報を共有する研修を行い，授業力向上を図る。  ③　デジタル機器に関連する図書資料や機器を計画的に準備など，環境整備に努める。 | Ｂ | 【達成状況】A20（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | |  | 95.7 |  |  | |  | ※ |  |  |   ・教職員の肯定的回答が95.7％で目標を達成している。  ・授業に関連する図書資料を学校図書館司書と連携し，並行読書や調べ学習に向けて計画的に用意した。  ・一人一台端末と図書を必要に応じて使い分け，調べ学習を進めた。  【次年度の方針】  ・担任と学校図書館司書と連携を密に取りながら、外部図書館からの資料活用を積極的に図れるようにする。 |
| 小・中学校，地域学校共通，本校の特色・課題等 | Ｂ１　児童は，時と場に応じたあいさつをしている。  【数値指標】  全体アンケート  「私は，時と場に応じたあいさつをしている。」の肯定的回答  ⇒児童８５％以上 | ①　代表委員を中心とした，あいさつ強化週間や中学校との合同あいさつ運動を活性化し，より多くの児童が積極的に運動に参加できるようにする。  ・低・中学年の自主的な参加を推進  ②　本校のあいさつ運動を学校便りや懇談会で保護者や地域の方々に周知する。  ・家庭での習慣化  ③　地域に向けたあいさつについて，学年に応じて，学級単位で定期的な指導を継続する。 | Ｂ | 【達成状況】B1（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 93.9 | 91.3 | 85.7 | 94.7 | | ※ | 93.8 | 87.0 | 100 |   ・児童の肯定的回答が93.9％で目標を達成している。  ・あいさつ強化週間中の取組により，児童に挨拶の習慣が定着してきている。  ・児童は校内ではよく挨拶できている。  【次年度の方針】  ・次年度も代表委員を中心としたあいさつ運動や中学校との合同あいさつ運動を継続し，学校全体の挨拶を活性化していく。  ・登下校指導の際，自発的に挨拶ができるように指導・奨励する。 |
| Ｂ２　児童は，きまりやマナーを守って，生活をしている。  【数値指標】  全体アンケート  「私は，きりやマナーを守って，生活している。」の肯定的回答  ⇒児童８０％以上 | ①　全職員の共通理解のもと，朝会・全校集会で全校児童に話をしたり，発達段階に応じて各学級で指導したりして，基本的生活習慣の定着を図る。  ・休み時間の過ごし方  ・授業の始まりの準備  ②「よい子の一日」の周知徹底を図る。  ・廊下の歩行（教室移動時・休み時間）  ・終業のあいさつと次時の準備  ・遊び方の共通理解  ・清掃中，清掃後の指導の徹底  ③　生活目標を活用し，スモールステップで目標を達成できるようにする。  ・良かった点を朝会で称賛する。  ・児童指導主任や代表委員児童が放送等で呼びかける。 | Ｂ | 【達成状況】B2（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 94.9 | 95.7 | 85.4 | 88.9 | | ※ | 93.8 | 90.3 | ※ |   ・児童の肯定的回答が94.9％で目標を達成している。  ・「よい子の一日」や月の生活目標を意識して生活を送る児童が増えてきている。  ・業間や昼休みには，教職員が交代で校庭，校舎内の巡視を行い，児童が安全に生活できるよう指導してきた。  【次年度の方針】  ・ルールやマナーの遵守について学級で友達と良かった点を認め合うようにする。  ・引き続き，業間や昼休みの校庭，校舎内の巡視を行い，児童の安全指導を行う。 |
| 本校の特色・課題等 | Ｂ３　教職員は，健康・体力面での適切な個別指導をしている。  【数値指標】  全体アンケート  「教職員は, 健康・体力面での適切な個別指導をしている。」における肯定的回答  ⇒教職員９０％以上 | ①　体力チェックや生活アンケートを実施し，個別指導に生かす。  ・外遊びの奨励と日常的な運動による体力づくり  ・朝の1分間運動の実施  ・歯磨き指導  ・姿勢の改善と視力向上に関する意識づけ  ②　給食・保健委員会を活用し，健康に関する児童の意識を高めていく。 | Ｂ | 【達成状況】B3（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 97.3 | 91.3 | 86.7 |  | | 97.5 | 93.8 | 76.4 |  |   ・教職員の肯定的回答が91.3％で目標を達成している。スタンダードダイアリーの生活習慣チェックを活用し，児童が生活を振り返る機会を設けた。  ・児童の成長に合わせて机や椅子の高さを調整し，学習姿勢の改善に努めた。  【次年度の方針】  ・業間，昼休みの外遊びを奨励したり，朝の1分間運動に取り組ませたり，日常的に運動に親しませ，体力の向上を図る。また，宇都宮市の元気っ子チャレンジへの取組を奨励する。  ・今後も学級活動等において，栄養士による栄養指導の充実を図る。  ・健康的な生活習慣について家庭と連携して，児童の実態に応じた声かけをする。 |
| Ｂ４　児童は，授業で習ったことを復習するなど，自主学習に取り組んでいる。  【数値指標】  全体アンケート  「私は，宿題や習ったことを復習するなど進んで家庭学習に取り組んでいる。」における肯定的回答　⇒児童８０％以上 | ①　西が岡小「家庭学習のすすめ」を活用し，学年に応じた家庭学習の習慣化を図る。  ・音読と個に応じた宿題の徹底  ・発達段階や個に応じた自主学習の進め方の指導  ・家庭学習の時間・やり方・内容の提示  ・学級懇談等での保護者への啓発  ・タブレット端末の活用  ②　自主学習の例を掲示して，よい取組を児童や保護者に知らせていく。  ・昇降口前の掲示（学習チャレンジ週間）  ・終わったノートの教室内掲示  ・リレー自主学習（全学年） | Ｂ | 【達成状況】B4（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 82.5 | 91.3 | 68.2 |  | | ※ | ※ | ※ |  |   ・児童の肯定的回答が82.5％で目標を達成している。「家庭学習のすすめ」の配付やリレー自主学習，学習チャレンジ週間などの実施により，苦手意識のあるものに挑戦する児童が増えてきた。  ・各学級担任の声かけや称賛により，家庭学習が習慣化してきたが、依然として個人差が大きい。  【次年度の方針】  ・学習調査の結果について，懇談会等を利用して本校児童の学力に関する課題を保護者と共有して連携を深める。  ・今後も，「家庭学習のすすめ」の配付やリレー自主学習，学習チャレンジ週間などの充実を図る。 |
| Ｂ５　縦割り班活動を積極的に行っている。  【数値指標】  全体アンケート  「学校は, 縦割り班活動を積極的に行い, 思いやりの心を育てている。」の肯定的回答  ⇒教職員９０％以上 | ①　異学年の交流活動を上級生がリーダーになって主体的に行い，思いやりの心を育てる。  ・たて割り班による花はなタイム  ・新体力テスト　・遊友タイム  ・読み聞かせ　　・お弁当の日  ・清掃活動　等  ②　班対抗のゲームや活動を取り入れて，継続的に高学年がリーダーとなる場づくりを推奨する。  ・遊友タイム　　・運動会  ・企画委員会との連携 | Ｂ | 【達成状況】B5（〇）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 | | 92.9 | 100 | 95.0 | 100 | | 96.9 | 100 | 95.8 | 100 |   ・教職員の肯定的回答が100％で目標を達成している。  ・目的が明確な活動が多く，上級生は下級生の面倒を見ながら，児童・教職員共に楽しく活動することができた。  ・児童の関係を配慮した班編成により，円滑な活動できた。  【次年度の方針】  ・高学年がリーダーとして活躍する場を設定することで自己肯定感を高め，充実した活動ができるようにする。  ・キャリアパスポートを活用して，異学年交流の活動の振り返りを行い，自分の成長の過程を確認できるようにする。 |

**〔総合的な評価〕**

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

|  |
| --- |
| 本校では，教育目標の具現化に向けて，今年度も重点目標，具体的な取組を設定し，特色ある教育活動に取り組んできた。児童・家庭・地域・教職員が一体となって，児童の健全育成のため令和5年度も，防犯パトロール（4月～），冒険活動教室（4月），田植え（5月），修学旅行（6月），あいさつ運動（5月，9月，11月），お話会，にじいろの会，稲刈り（9月），文化祭（11月），「友情の火」聖火リレー，運動会（10月），ふるさと教室（11月，12月）等の活動を実施した。  今年度の学校マネジメントの全体アンケートを見ると，25評価項目のうち22項目で，学校の目標値を上回ることができた。全体的に，児童は，きまりやマナーを守り，思いやりの心をもって，落ち着きのある生活を送っている。また，学習にも熱心に取り組んでいる様子が見受けられる。  **【学校運営に関連する評価について】**  ・「Ｂ５ 縦割り班活動を積極的に行う」の項目で，児童，保護者，地域の肯定回答が昨年度に続き，高い数値となった。引き続き，縦割り班活動を積極的に活用し，児童が主体的に取り組む場や機会を，意図的・計画的にバランスよく学校行事や特別活動等で実施する中で，上級生がリーダーになって主体的に活動を行い，思いやりの心を育てていく。  ・「Ａ１１ いじめ防止」「Ａ１２ 不登校を生まない学級経営」「Ａ１３ 一人一人が大切にされる」 の項目で，児童，保護者，地域（※Ａ１２は除く）の肯定回答も，市の平均を上回る良い結果だった。今後とも，児童一人一人を大切に，個に目を向けた学級経営の充実，道徳教育の充実，教育相談を活用したいじめ防止について継続して取り組んでいく。  ・「Ａ１８　家庭・地域・企業等と連携・協力」の項目で，目標値を上回る良い結果だった。これからも地域の教育力を生かした教育活動が展開できるように努め，情報を積極的に発信していく。  **【学習指導に関連する評価について】**  ・「Ａ６ 英語を使ってコミュニケーション」「Ａ７ 宇都宮の良さを知っている」「Ａ８ デジタル機器や図書等を学習に活用」「Ａ２０ デジタル機器やネットワークを取り入れた授業準備」の項目では，目標値を上回る良い結果だった。これからも教材研究に努め，外部人材や各種資料を生かした教育活動が展開できるように努めていく。  ・「Ａ９ 持続可能な社会についての関心」の項目で，教職員の肯定回答は目標値を下回った。現職教育の機会を活用し，教職員の資質の向上のため研究と修養に努めていく。また，児童の発達段階に応じた教材分析や授業づくりをさらに行い，持続可能な社会づくりの実現に向けて，児童の見方・考え方を育てていく。  ・「Ａ１ 他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考える」の項目で，児童の肯定回答は目標値を下回った。今後も，互いに認め合う学級経営を重点的に進めるとともに，1人1台端末の活用場面等を工夫し，主体的な学び合いができる授業づくりに取り組んでいく。  ・「Ｂ４ 家庭学習」の項目で，児童の肯定回答は目標値を上回ったが，保護者は68.2％と低い結果だった。今後とも，児童一人一人の学力向上のため，参観の機会などに自主学習の例を掲示する，西が岡小「家庭学習のすすめ」を活用する等，学年に応じた家庭学習の習慣化を指導していく。家庭にも，お便り等で協力をお願いしていく。  **【児童生徒指導に関連する評価について】**  ・「Ｂ１ あいさつ」の項目で，児童・地域・保護者・教職員の肯定回答が，目標値や市の平均を上回ることができた。今後も，「元気いっぱい　夢いっぱい　笑顔あふれる　西が岡」の実現のため，児童が自ら主体的にあいさつできるように，あいさつの習慣化，意識化，実践化の取組を継続していく。家庭でも児童のあいさつ習慣が身に付くよう協力をお願いしていく。  ○「Ａ１７　小中一貫した取組」については，保護者の肯定的回答は昨年度より1.0％以上向上し，90.9％であり，数値目標を上回っている。今後も，児童の安全・安心を第一に課題の達成に向けた取組を継続するとともに，復活したコロナ禍以前の活動を更に精選し，活動内容の質を高めていく。  ・「Ａ２　思いやりの心」,「Ａ３　目標に向かっての粘り強い取組」，「Ａ５　協力して生活する」，「Ａ１０　特別な配慮を要する児童への支援」の項目では，いずれも目標値を上回っており，肯定的な評価だった。今後も，学校行事や児童会活動，学級活動などを通して，全校体制で西が岡小の児童を見守る体制を整えていく。  **【健康（体力・保健・食・安全）に関連する評価について】**  ・「Ａ６　児童は，健康や安全に気を付けて生活している。」，「Ａ１９ 利用する人の安全に配慮した環境づくり」，「Ｂ３　教職員は，健康・体力面での適切な個別指導をしている。」の項目で，目標値を上回っており，肯定的な評価だった。今後とも，学校施設の環境整備に努めていく。また，体力チェックや生活アンケートの結果をもとに個別指導を充実し，児童の健康への意識を高めていく。  **【教育の効率化に関連する評価について】**  ・「Ａ１５　学校に関わる教職員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。」の項目で，教職員の肯定回答が目標値を上回っている。「Ａ１６　勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。」の項目で，教職員の肯定回答は目標値を10％以上下回り，業務の効率化は未だ十分ではない。今後も，ねらいを踏まえた学校行事の実施及び月や週のバランスを踏まえた教育課程を編成する。また，放課後の時間を確保するための金曜日日課を導入する。さらに打合せや研修等で教職員の意識の高揚を図ったり，登下校の時間管理を適切に行ったり，焦点を絞った登下校指導を実施したりするなどして，ライフワークバランスを踏まえた業務改善に取り組んでいく。 |

**７　学校関係者評価**

|  |
| --- |
| **【児童のあいさつについて】**  ・多くの児童が，学校外でも気持ちの良いあいさつを返してくれる。大人もよい気持ちになっている。  ・あいさつは，他校に比べてもよい。スポーツ少年団等の児童のあいさつがよい。  ・あいさつを恥ずかしがる子もいるが，知らんぷりする子はいない。  ・朝集合する時にあいさつをしない児童がいる。また，眠そうでもある。自然にあいさつができるよう，個別の声掛けが必要である。  ・ヘルメット着用や手を挙げて歩行することについては，継続して指導してほしい。  **【学校運営に関連する評価について】**  ・学校環境が充実している。先生方も温かさがあってよい。  ・学校評価に課題があった項目に関して，①SDGsは17項目のうち，１,２項目に絞って取り組む。②体力づくりは継続して朝の活動を行い,体力を上げる。③ワークライフバランスは体力・幸福感が得られると上がるので，職員間の楽しいイベントを企画する。④家庭学習にもっと積極的にICTを利用する。  **【地域の教育力を生かした特色ある教育活動について】**  ・ＰＴAの各担当はよくやっている。今年度の行事が増えたことで更に連携が深まった。読み語り，農業体験,宮っ子ステーションなど，家庭ではできないことを体験させていただき，ありがたい。  ・農業体験をできること親子ともに喜んでいる。他校と比較しても，素晴らしい体験活動ができる環境である。  ・農業体験をできる環境を提供していただける方がいる。また，それを支える地域の協力体制が素晴らしい。  ・昔遊び（２年生活科）は児童だけでなく，教える大人も楽しい。  ・協力的な保護者とそうではない保護者がいる。コロナ禍で親同士のつながりのない時期があったので，親が参加し難い状況があるのではないか。裾野を広げる活動が必要である。  ・学区内には信号機が無いので，横断歩道で（手を上げ）の習慣を徹底させることが大切である。  **【その他】**  ・育成会の行事に教職員が参加するなど，学校が育成会活動に協力的でありがたい。今後も育成会会員を増やす活動に協力してほしい。  ・放課後の児童の遊ぶ様子を見ていると小学校・公園・店舗である。地域に雨風がしのげる場所があるとよい。 |

**８　まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）**

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

|  |
| --- |
| 学校運営の状況，教育活動の状況，学習指導，児童指導，健康・体力，本校の特色・課題などの多くの事項については，概ね目標を達成することができた。  西が岡小学校の歴史と伝統を重んじ，今後も，「元気いっぱい　夢いっぱい　笑顔あふれる　西が岡」の実現を目指し，学校としての組織力を高めるとともに，学校・家庭・地域が，チーム西が岡として，創意工夫をこらした教育活動を展開し，誰もが安心して学べ，活力にあふれる，地域とともにある学校づくりを推進する。  児童の安全・安心を第一に，「時と場に応じたあいさつ」「きまりやマナーを守った生活」の習慣化のため，あいさつ強化週間や中学校との合同あいさつ運動等をさらに活性化し，より多くの児童が積極的に運動に参加できるよう，地域ぐるみのあいさつ運動を積極的に展開する。さらに，「感謝や思いやりの心の育成」のため，学校・家庭・地域との連携を密に，今後も体験活動と関連を図った授業を実施するとともに，地域との交流活動を実践する。更に，社会情勢や新しい教育情報を積極的に取り入れながら，児童の学びを第一に考えた授業研究に取り組むことで，一人一人が大切にされ，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気のある学校を目指していく。  次年度も，本校の学校運営の状況，教育活動の状況，学習指導，児童指導，健康・体力，本校の特色などについて積極的に公表しながら，今年度の取組を継続・発展させ，学校と家庭，地域が協力・連携を図り，地域ぐるみで学習環境を整えていく。  「小中一貫教育・地域学校園の取組」については，宝木地域学校園の，これまでの実践を継続していくとともに，学校ＨＰお知らせや各種たよりを工夫するなどして，家庭や地域の方々への周知を図っていく。  特に，地域とともにある学校を目指して，積極的な情報の発信・提供に努め，地域に開かれた学校の実現に取り組み，地域に根差し，地域から信頼される学校づくりを推進していく。  これからも，地域や家庭からの建設的な声を学校運営に反映し，改善を図りながら，教育活動全体の質の向上に努めていく。 |